

## 第41回 第3章 現代社会の諸課題

### 第2節 国際社会の諸課題

講師

相原義信

# 経済援助は貧困を削減できるか？

#### 学習のねらい

世界では、多くの人々が極度の貧困の状態にあり、所得の格差が拡大しているといわれています。貧困や格差の課題について、国際社会や日本はどのような取り組みをしているのでしょうか。貧困の現状や援助について、考えましょう。

調べておこう  
覚えておこう

絶対的貧困／政府開発援助（ODA）／社会保障制度／  
相対的貧困／持続可能な開発目標（SDGs）／貧困の解消／  
環境の保全／人間の安全保障／非政府組織（NGO）

※下記の空欄 \_\_\_\_\_ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

#### POINT 1

### 貧困とは何か？

発展途上国の貧困では、生命の危険があるほどの極度の貧困が存在しています。1日の生活費が1.9ドル未満を貧困の基準にして、「<sup>①</sup> \_\_\_\_\_ 」といわれます。水や食料、住まい、医療、教育など、人間として生きるための基本的なニーズが不足している状態です。

日本では、憲法第25条で、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を規定して、生活保護などの<sup>②</sup> \_\_\_\_\_ が整備されています。先進国では、多くの人々が豊かな生活を送っていますが、日常生活を営むことに困難を抱えている人もいます。同じ国の中で、大多数の人々とくらべて、貧しい状態にあることを「<sup>③</sup> \_\_\_\_\_ 」といいます。

日本では、先進国の中でも相対的貧困率が高く、およそ6人に1人が貧困の状態にあり、特にひとり親世帯の子どもの貧困率が高いといわれています。

#### POINT 2

### SDGs と貧困問題

世界では、7億人を超える人々が極度の貧困の状態にあります。「ミレニアム開発目標（MDGs）」にかわって、2015年に「<sup>④</sup> \_\_\_\_\_ 」が国連で採択されました。

SDGsは、「<sup>⑤</sup> \_\_\_\_\_ 」と「<sup>⑥</sup> \_\_\_\_\_ 」にかかわる幅広い目標があり、途上国・先進国を問わず、すべての国・地域を対象としています。「だれ一人取り残さないこと」がうたわれています。経済成長が、すべての人の所得を増加させるとは限らず、かえって貧富の格差を広げてしまうこともあります。格差の拡大の傾向は、先進国にもみられます。

紛争や暴力がはびこって、統治のしくみが働かないと、難民になるなど貧困におちいる危険があります。また、自然災害や環境の悪化は、農作物の収穫量に影響したり、病気のまん延の原因になったりして、飢餓や貧困につながります。貧困の解決には、経済の成長だけでなく、社会のあり方や環境の保護にも取り組んでいく必要があります。

POINT 3

日本の開発協力

「<sup>⑦</sup>.....」は、政府や政府機関によって行われる開発協力のことです。日本のODAは、国際機関を通じて協力したり、相手の国に直接協力したりします。「円借款」や返済の必要のない資金の支援だけでなく、技術の提供や専門家の派遣なども行っています。

日本のODAでは、人間一人ひとりに焦点をあてて、紛争や貧困などの脅威から人々の生命や尊厳を守る「<sup>⑧</sup>.....」という考えを重視しています。

日本の開発協力では、政府だけでなく、技術を持っている企業や<sup>⑨</sup>.....など、さまざまな機関が連携して進められています。NGOは、政府同士の協議が進められない紛争地域や、相手国の政府が力を入れていない分野などで活動しています。

Blank lined area for student notes.

答え

①絶対的貧困 ②社会保障制度 ③相対的貧困 ④持続可能な開発目標(SDGs) ⑤貧困の解消

⑥環境の保全 ⑦政府開発援助(ODA) ⑧人間の安全保障 ⑨非政府組織(NGO)